

第31回 青梅市公共交通協議会

今年度の取り組みについて

1. 広報おうめにおける公共交通利用促進記事（案）
2. 事業所におけるMMIについて
3. 学校教育におけるMMIについて
4. 高齢者を対象としたMMIについて
5. 河辺下地区の取り組みについて
6. その他

令和元年9月9日

1. 広報おうめにおける公共交通利用促進記事（案）

現状はピンチ

現在、市内では鉄道やバスが運行されており、公共交通に恵まれた地域であると言えます。

しかしながら近年、公共交通の利用者数は減少を続け、交通事業者の努力や行政の補助金だけでは路線の維持が難しくなっています。

減少の悪循環

利用者が減ると、交通事業者の運賃収入が減少し、運行経費をまかなうことができなくなります。そうすると、運行経費を抑えるため、便数や路線数を縮小せざるを得なくなります。

その結果、利便性が低下して、さらに利用者が減少

利用して健康に

例えば、買物へ行くのに1時間移動するとして、車で行けば家から店までほとんど座ったまま移動します。でも、鉄道・バスを使えば駅やバス停まで歩いたり、鉄道・バスの中で立つ

利用者減少による悪循環

使うほどエコ

鉄道やバスは車に比べて二酸化炭素排出量が半分以下となり、地球環境にとって

通勤手段と肥満の人の割合

出典：モビリティ・マネジメント教育のすすめ

移動手段と消費カロリー

出典：第6次改定日本人の栄養所要量

未来につなげる

いつもの生活に鉄道やバスの利用を取り入れてみることで、公共交通を未来につなげる第一歩になります。

市内の公共交通の情報は市のホームページに掲載しています。

輸送量当たりの二酸化炭素の排出量

出典：国土交通省 (2017年度)

もやさしい交通手段です。

乗って守ろう！使って育てよう！公共交通

青梅市 公共交通 で検索

2. 事業所におけるMMについて

昨年度、三ツ原工業会における2つの事業所から、モビリティマネジメントの取り組みへの協力意向が得られたため、この2事業所に対して、通勤時の公共交通利用を考えていただくアンケートや情報提供ツールの配布を行う。

アンケートについては、国土交通省が実施しているエコ通勤アンケートをベースに、青梅版アンケート(環境面に加えて健康や公共交通維持といった観点を追加)を作成して実施する。

【第1回】協議会後に実施

- お願い状(趣旨、取り組みのメリット)
- 動機付け冊子
- バスマップ
- 事前アンケート

【第2回】数か月後に実施

- お願い状
- 事後アンケート

スマート・コミュニケーションのすすめ

- Take a Smarter Route to Work -

お勤め先までの交通手段は、何をお使いですか
おそらく、大半の方がクルマではないでしょうか



クルマは便利で快適な乗り物です
出発時間は自由に決められ、多少渋滞しても、
エアコンがきいた室内で、座って通勤...

しかしクルマには、快適・便利な反面、
いろいろな副作用があるのをご存知でしょうか



この中で、いくつかご紹介させて
いただきたいと思います

スマート・コミュニケーションとは、賢い通勤という意味です。
クルマと公共交通、あなたも賢い選択をしませんか？



クルマ利用と『地球温暖化』

地球温暖化の原因のひとつがCO₂

CO₂は、エネルギーを使えば発生しますが、
電車やバスは、クルマの半分以下の排出量です

公共交通は、地球環境にやさしいのです



輸送量当たりの二酸化炭素の排出量

出典：国土交通省（2016年度）

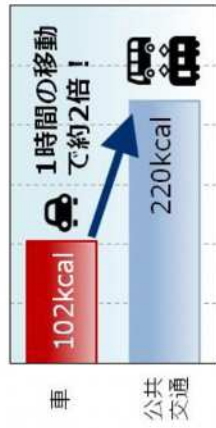


クルマ利用と『健康』

例えば、通勤で一日 1 時間移動するとします

クルマなら、勤め先までほとんど座ったままですが、電車やバスは、駅やバス停まで歩いたり、車内で立ったたり、消費カロリーが 2 倍以上になります

公共交通は、健康にいい交通手段なのです



移動手段と消費カロリー

出典：第 6 次改定日本人の栄養所要量



クルマ利用と『事故』

交通手段別の交通事故死者数は、電車やバスはクルマの 1/10 以下、公共交通は安全性の高い乗り物です



移動手段別年間交通事故死者数

出典：(車・鉄道) 平成 30 年版交通安全白書
(バス) 自動車運送事業用自動車事故統計年報 (平成 28 年)



クルマ利用と『公共交通』

近年、公共交通の利用者数が減少し、バス路線の経営が厳しくなっています

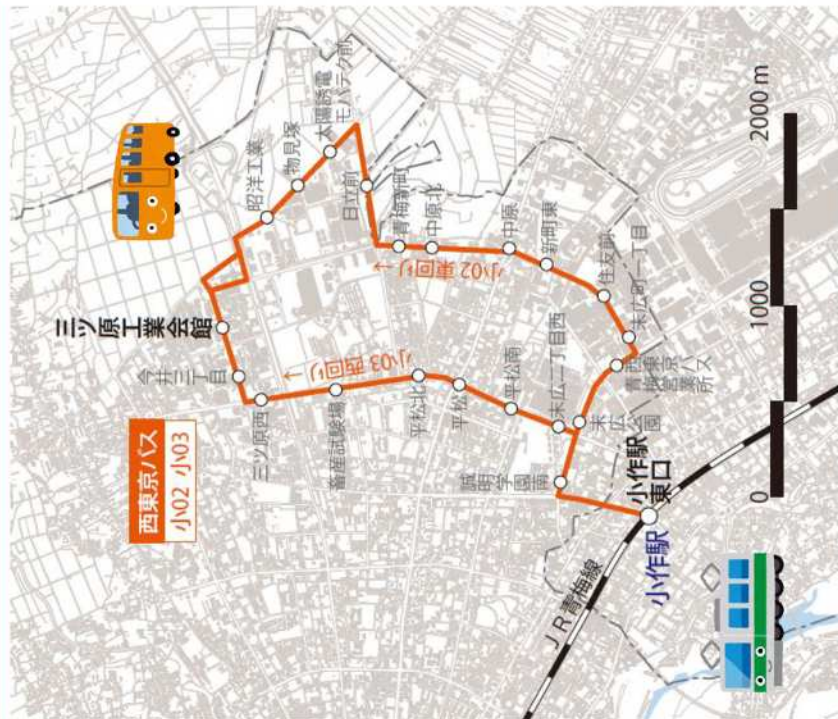
でも、バス路線がなくなると、クルマを運転できない人や免許返納した高齢者の方が大変困ります

バス路線を将来にわたって残していくためにも、ぜひみなさんに利用していただくことが大切なのです



三ツ原工業会バスマップ

- Take a Smarter Route to Work -



小作駅発 → 立川・東京方面 (青梅線)	
平日	
4	42
5	08 36 47 59
6	04 11 18 31 36 43 51 59
7	03 08 13 16 24 31 34 37 46 51 58
8	07 15 21 34 45 56
9	06 18 31 45 53
10	02 15 28 39 49
11	03 12 24 38 49
12	03 16 24 37 49
13	04 14 25 37 49
14	02 15 25 38 49
15	02 15 24 37 49
16	03 15 27 39 53
17	04 21 29 38 48 59
18	10 21 27 33 43 54
19	05 15 26 37 47 58
20	02 13 17 27 35 43 48 54
21	05 17 32 47 58
22	09 24 38 51
23	07 14 25 37 48
0	06

00 青梅特快
00 東京行
00 快速
00 東京行
00 東京行
00 立川行

土日祝	
4	42
5	08 49
6	04 18 24 32 38 46 54
7	09 20 32 45 55
8	07 17 29 36 44 58
9	08 20 28 39 51
10	07 19 30 40 51
11	01 13 24 34 46 57
12	12 19 33 45 57
13	10 19 32 44 56
14	11 23 32 43 48 57
15	10 17 29 45 55
16	13 18 27 37 50
17	06 18 27 40 50
18	02 16 27 38 46 54
19	04 16 27 33 42
20	00 13 24 41 57
21	12 23 33 44 56
22	06 19 31 42 56
23	08 27 37 53
0	07

小作駅発 → 青梅・奥多摩方面 (青梅線)	
平日	
5	09 26 36 48 53 59 河
6	12 20 32 37 43 48 河 57
7	00 河 12 18 30 43 55
8	04 河 13 24 35 45 56
9	08 20 27 37 51
10	06 18 29 41 52
11	04 15 29 42 51
12	01 15 29 42 53
13	05 15 29 41 52
14	00 15 29 42 52
15	00 15 28 42 53
16	06 18 30 44
17	00 11 18 河 27 38 49 59
18	05 11 20 33 44 54
19	04 14 26 37 41 49 55
20	06 11 18 27 32 44 55
21	01 11 23 36 46 53
22	03 17 31 47
23	04 15 21 32 44 58 奥
0	21 44
1	06

奥多摩行
御蔵行 河 河辺行

土日祝	
5	09 28 40 56
6	15 26 44 奥
7	02 31 11 20 32 46 55
8	04 14 19 奥 28 48 52 59
9	18 30 47 59
10	07 20 31 41 53
11	04 14 26 37 47 57
12	11 21 33 47 59
13	12 21 34 47 55
14	07 20 35 48 55
15	07 18 30 45 55
16	07 17 28 42 56
17	05 15 24 42 56
18	07 17 28 35 河 44 54
19	06 18 22 河 33 39 52
20	03 08 18 25 37 51
21	01 13 23 35 46 56
22	11 21 32 46
23	02 17 28 33 47 奥
0	13 41
1	06

小作駅東口発 (西東京バス)			
平日	土日祝		
	小02	小03	小03
5	30	5	
6	11 51	00 30	6 48
7	15 35 47	05 25 35 50	7 15 50
8	00 21 40	00 09 17 24 30 38 50	8 23 52 10 34
9	15 45	00 33	9 22 50 03 34
10	17 50	02 38	10 23 50 05 35
11	24 58	12 48	11 24 51 06 41
12	34 58	10 46	12 22 51 06 37
13	20 46	14 34	13 24 55 03 36
14	18 56	08 44	14 27 52 10 39
15	32	20 52	15 23 51 06 34
16	10 48	32	16 22 46 01 33 59
17	02 12 26 44	00 23 35 47	17 14 45 28
18	00 14 28 46	05 20 42	18 20 50 02 38
19	05 35	08 30 45	19 23 55 10 42
20	00 25	10 36	20 28 58 08 40
21	05 40	27 58	21 39 11
22	10 36		22 42
23	08		23

三ツ原工業会館発 (西東京バス)			
平日	土日祝		
	小02	小03	小03
5	38	5	
6	24	08 39	6
7	07 31 51	14 34 44 59	7 02 29
8	03 16 37 54	09 18 26 33 39 47 59	8 04 37 19 43
9	29 59	09 42	9 06 36 12 43
10	31	11 47	10 04 37 14 44
11	04 38	21 57	11 04 38 15 50
12	12 48	19 55	12 05 36 15 46
13	12 34	23 43	13 05 38 12 45
14	00 32	17 53	14 09 41 19 48
15	10 46	29	15 06 37 15 43
16	24	01 41	16 05 36 10 42
17	03 20 30 44	09 32 44 56	17 00 29 08 37
18	02 15 29 43	14 29 51	18 00 35 11 47
19	01 19 49	17 39 54	19 04 37 19 51
20	14 39	19 45	20 09 41 16 48
21	17 52	36	21 11 52 19
22	22 48	07	22 55 22
23	20		23

小作駅バスのりば



ピーク時所要時間

行き 小作駅→三ツ原工業会館 小03 9分
 小02 16分
 帰り 三ツ原工業会館→小作駅 小03 23分
 小02 15分

運賃







現金：200円 IC：195円

※ 10月より変更

問1 現在、どの交通手段を、どれくらい利用して、通勤していますか？

記入例を参考に①～⑥の交通手段すべてについて、ご回答ください。

記入例	<input type="checkbox"/> 月に	} 3 日程度 通勤している
	<input checked="" type="checkbox"/> 週に	
	<input type="checkbox"/> 通勤していない	

①	 電車 や バス	<input type="checkbox"/> 月に } <input type="checkbox"/> 週に } <input type="text"/> 日程度 通勤している <input type="checkbox"/> 通勤していない
②	 クルマ (運転)	<input type="checkbox"/> 月に } <input type="checkbox"/> 週に } <input type="text"/> 日程度 通勤している <input type="checkbox"/> 通勤していない
③	 クルマ (同乗)	<input type="checkbox"/> 月に } <input type="checkbox"/> 週に } <input type="text"/> 日程度 通勤している <input type="checkbox"/> 通勤していない
④	 バイク	<input type="checkbox"/> 月に } <input type="checkbox"/> 週に } <input type="text"/> 日程度 通勤している <input type="checkbox"/> 通勤していない
⑤	 自転車	<input type="checkbox"/> 月に } <input type="checkbox"/> 週に } <input type="text"/> 日程度 通勤している <input type="checkbox"/> 通勤していない
⑥	 徒歩	<input type="checkbox"/> 月に } <input type="checkbox"/> 週に } <input type="text"/> 日程度 通勤している <input type="checkbox"/> 通勤していない

問2 同封の冊子の内容についてうかがいます。

① 「クルマ利用とCO2」のページについて内容をご存知でしたか？

知らなかった なんとなく知っていた よく知っている

② 「クルマ利用と健康」のページについて内容をご存知でしたか？

知らなかった なんとなく知っていた よく知っている

③ 「公共交通の現状」のページについて内容をご存知でしたか？

知らなかった なんとなく知っていた よく知っている

問3 地球温暖化やご自身の健康、公共交通の現状などを考えると、できるだけ公共交通や徒歩・自転車を利用した方がいいと思いますか？

まったく思わない 少し思う 思う とても思う

問4 勤務地近くのバス路線（三ツ原循環）について、改善が望まれることは何ですか。

時刻表通りの運行 電車とバスの接続のタイミング
 始発時刻の繰り上げ バス停環境（ベンチ、上屋、禁煙の徹底など）
 終発時刻の延長 その他（）
 運行本数の増加 特になし

問5 通勤に「クルマ」を少しでも利用されている方におうかがいします。

① 「クルマ」の代わりに、「徒歩」や「自転車」で通勤することは可能ですか？

絶対に無理 無理ではないが、難しい できる

② 「クルマ」の代わりに、「電車」や「バス」で通勤することは可能ですか？

絶対に無理 無理ではないが、難しい できる

③ 「電車・バス」通勤または「徒歩・自転車」通勤を、少しでも実践してみようと思いませんか？

まったく思わない 少し思う 思う とても思う

恐れ入りますが理由を教えてください

自宅近くに電車やバスが通っていないから
 電車やバスだと遠回り、または本数が少ないなど不便だから
 自宅から勤務先まで「徒歩・自転車」では遠いから
 クルマの方が楽だから
 家族を送迎しているから
 その他（具体的に ）

「電車・バス」や「徒歩・自転車」で通勤するとしたらどのようにしてみようと思いませんか？

「徒歩・自転車」で通えそうなので、天気の良い日に試してみる
 「電車・バス」で通えそうなので、今度一回試してみる
 お酒を飲む日だけ、「電車・バス」を試してみる
 その他（具体的に ）

上でお答えいただいた通勤は、実際にできそうですか

無理 多分、できる できる

ご協力いただき、ありがとうございました。
ぜひ、これを機会に、できる範囲で、
公共交通通勤や徒歩・自転車通勤にお取り組みいただければ幸いです。

3. 学校教育におけるMMについて

(1) 学校教育におけるMMの目的

青梅市立成木小学校(以下、成木小学校)の学生を対象に、路線バスを用いた乗車体験を通して、乗降の仕方やマナー、公共交通としての路線バスの大切さ等について学習してもらおう。

MM学習を通して、路線バスに興味や親しみを持ってもらい、路線バスに乗車する機会の増加や、将来も移動手段の一つとして自然に選択できるような意識の醸成をはかり、路線バスの永続的な利用促進につなげる。

今年度は、小学校の学習指導要領の記載事項を踏まえ、「交通に関する視点から、地域の様子を捉え、地域の特色に応じた課題解決」を目的として、学習を実施する。

(2) 実施概要

①対象

- 取組の目的に応じ、成木小学校3学年、4学年を対象とする
- また、昨年度の取組も好評であったことを踏まえ、1学年、2学年も対象とする(ただし、「乗り方教室」のみ実施)

②実施日時

- 2019年10～11月を想定(具体的なスケジュールは今後調整)
- 授業2コマ

③実施場所

- 座学は、教室で実施
- 乗車体験は、成木小学校の隣接駐車場

④3 学年・4 学年向けの授業内容

- 日常(休日など)の移動手段として、公共交通が利用手段のひとつとして認識してもらえるように、普段はクルマで移動している場所へ、公共交通を利用してもいけることを理解してもらう

(1コマ目)

所要時間	講座	実施	学習内容
10分 ※移動時間 含む	座学	クラス担任 ※必要な資料等は コンサルタントが用意	チラシやスライドを用いて乗り方、ルール等を説明する <ul style="list-style-type: none"> ・成木小学校の位置、青梅市内の主要施設の位置、東京都から見た青梅市 ・クルマ利用のメリット・デメリット ・公共交通利用の重要性
35分	グループワーク	クラス担任	グループ毎に目的地を設定し、目的地までの行き方を考える <ul style="list-style-type: none"> ・目的地までの行き方 ・時刻表の見方 ・交通手段の選択 ※指導要領を参考に、3年生は市内の主要施設、4年生は市外の街を目的地として設定

(2コマ目)

所要時間	講座	実施	学習内容
15分 ※移動時間 含む	座学	クラス担任	1コマ目で考えた、目的地までの行き方について、グループ別に発表 ・各グループ5分程度(4グループ) ・参加者全員で、理解を深める
30分	乗車体験	バス事業者	隣接駐車場に路線バス車両を持ち込み、乗車体験を実施する ・バス車両の見学(座学内容の体験:乗車方法やマナー) ・バリアフリーに対応した低床バス車両の学習 ・車いす利用者の介助の仕方(スロープ体験) ・運転席体験(死角やバックミラー) ・内輪差、オーバーハング等の危険 ※バス事業者と今後調整

⑤1 学年・2 学年向けの授業内容

- 授業内容は、昨年同様に想定(乗り方教室がメイン)

所要時間	講座	実施	学習内容
15 分 ※移動時間 含む	座学	クラス担任 ※必要な資料等 はコンサルタントが用意	チラシやスライドを用いて乗り方、ルール等を説明する <ul style="list-style-type: none"> ・市内の公共交通の概要 ・身近なバス路線の行先 ・時刻表の調べ方 ・バスの乗り方・降り方 ・整理券と運賃表の見方
30 分	乗車体験	バス事業者	隣接駐車場に路線バス車両を持ち込み、乗車体験を実施する <ul style="list-style-type: none"> ・バス車両の見学（座学内容の体験：乗車方法やマナー） ・バリアフリーに対応した低床バス車両の学習 ・車いす利用者の介助の仕方（スロープ体験） ・運転席体験（死角やバックミラー） ・内輪差、オーバーハング等の危険
(5分)	宿題	クラス担任	今日学習したことの振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・おうちの方と、今日の学習についてお話をしたか？ ・小学校の近くの●●バス停から、はどこに行けるか？ ・乗車体験をしてみたの感想

④宿題

- 事業の振り返りを自宅で行ってもらうために宿題を配布する
- 裏面には、保護者向けの啓発チラシを張り付け、公共交通の利用を促す

～ バスの乗り方教室 宿題～

ねんせい
年生

バスの乗り方教室について、
おうちの人とお話ししてみましょう

● 今日学習したことの中で、楽しかったことは何ですか？

● 今日学習したことについて、おうちの人とどんなお話をしましたか？

● バスについて、もっと知りたいと思いましたか？
(どちらかに○をつける)

はい / いいえ

宿題(表面) イメージ

ご家族の方へ【公共交通の維持に向けて】

乗って守ろう！使って育てよう！公共交通

現状はピンチ

現在、市内では鉄道やバスが運行されており、公共交通に恵まれた地域であると言えます。

しかしながら近年、公共交通の利用者数は減少を続け、交通事業者の努力や行政の補助金だけでは 路線の維持が難しくなっています。



減少の悪循環

利用者が減ると、交通事業者の運賃収入が減少し、運行経費を賄うことができなくなります。そうすると、運行経費を抑えるため、便数や路線数を縮小せざるを得なくなります。

その結果、利便性が低下して、さらに利用者が減少する悪循環になります。

今は車を利用していても、5年後、10年後の近い将来、車以外の移動手段が必要となったとき、困るかもしれません。

利用者減少による悪循環



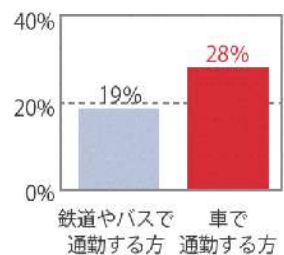
利用して健康に

例えば、買物へ行くのに1時間移動する とします。車で行けば 家から店までほと んど座ったまま移動することになります。

一方、鉄道・バスを使えば、駅やバス停 まで歩いたり、鉄道・バスの中で立っ たりして運動することで健康増進につなが ります。



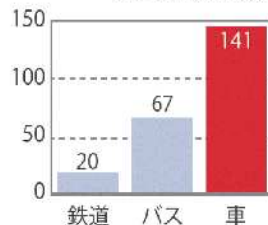
通勤手段と肥満の人の割合 (出典 モビリティ・マネジメント教育のすすめ)



使うほどエコ

鉄道やバスは車に比べて二酸化炭素の排出量が半分以下となり、地球環境にとてもやさしい交通手段です。

輸送量当たりの二酸化炭素排出量 (出典 国土交通省 (2016年度))



未来につなげる

いつもの生活に鉄道やバスの利用を取り入れてみる ことが、公共交通を未来につなげる第一歩になります。 市内の公共交通の情報は、市のホームページに掲載 しています。

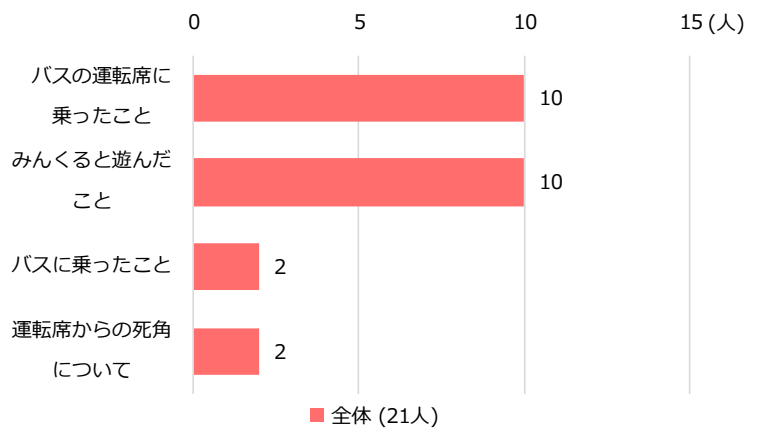
青梅市ホームページ
市内の公共交通情報



昨年度の宿題の結果

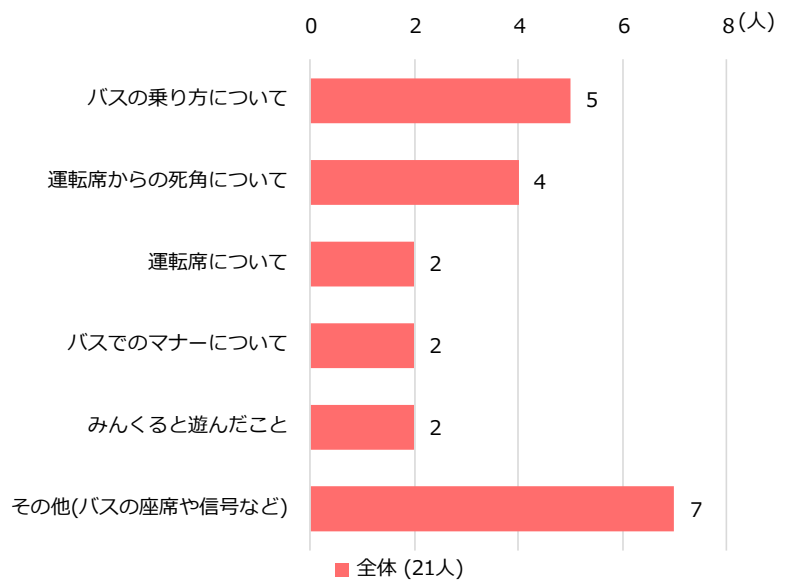
- 楽しかったことについては、「バスの運転席に乗ったこと」と「みんなくると遊んだこと」が最も多い。
- おうちの人と話した内容については、「バスの乗り方について」や「運転席からの死角について」などが多くなっている。
- バスについてもっと知りたいと思うと答えた児童は 21 人中 18 人となった。

今日学習したことの中で、楽しかったことは何ですか？



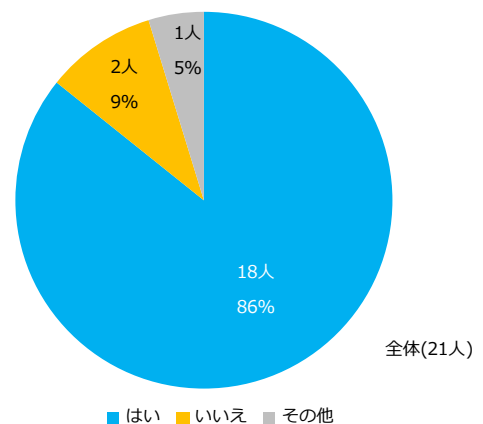
※複数回答あり

今日学習したことについて、おうちの人とどんなお話をしましたか？



※複数回答あり

バスについて、もっと知りたいと思いましたか？



4. 高齢者を対象としたMMIについて

【提案】

- 昨今の自動車事故の報道等で、自動車運転に対して不安が高まっている高齢者が増えていると言われています。
- また、自動車を使えなくなると生活に不安があるという方も多いため、自動車を運転しない生活について情報提供することで、まず免許返納の前に自動車を使わない生活を始めてみるということを提案してはどうでしょうか。
- 青梅市では、車が使えないと生活に支障が出るのでは？と感じている方も多いため、そんな層にアプローチすることができると、事故防止だけでなく、安心・安全に暮らせる、公共交通利用効果が高いと思います。

5. 河辺下地区の取り組みについて

(1) 河辺下地区の取り組みの目的

千ヶ瀬-河辺下ルートについては、バス事業者の発案で 2011 年から検討を進めてきたが、運行の実現に向けた関係機関との協議で解決に時間を要する課題が残る状況の中、2017 年にバス事業者より、安全性や経済性の問題から検討をいったん白紙に戻すことで話がいった。

今回は、交通不便地域である河辺下地区において、改めて地域住民の方が何に困っていて、市にどのようなサポートを求めているのかを把握することを目的とする。

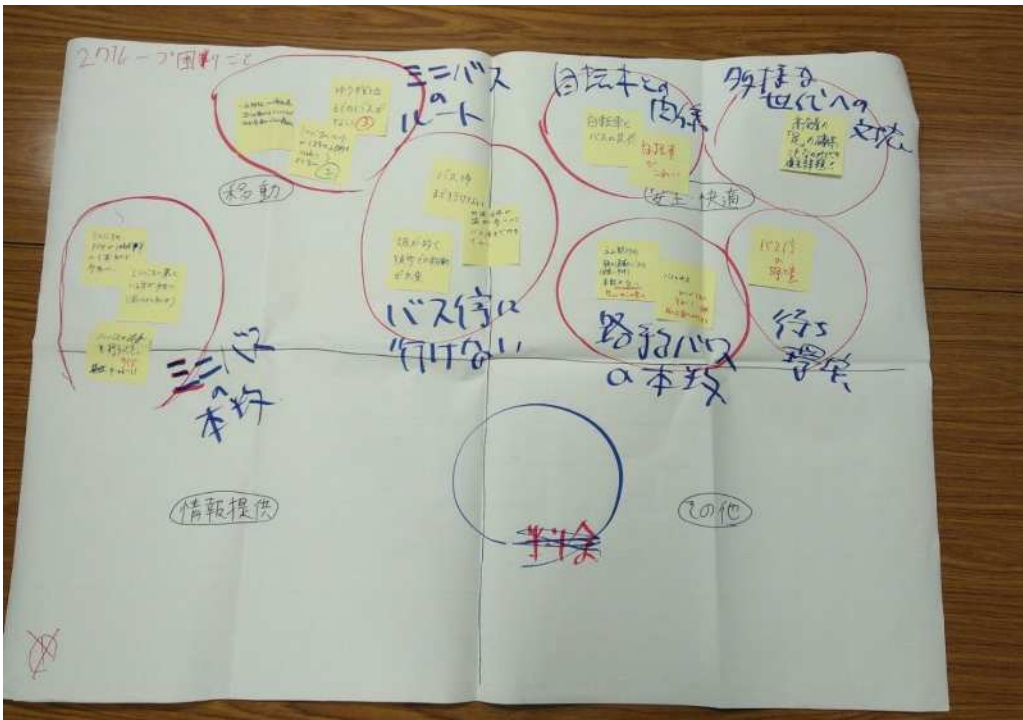
(2) 市民参加の実施方針

①導入する市民参加ツール

- 検討の目的を踏まえ、一方的に行政側が説明し、意見聴取をする方法よりも、行政と市民が協働で地域の問題・課題を踏まえたうえで、解決策を議論できる市民参加手法を導入することが必要である
- 市民のニーズを把握する段階(ゼロベースの検討段階)においては、自由な意見交換会が可能で、創造的な解決のアイデアを見出すことができるワークショップの導入が望ましい

表 ワークショップの概要

項目	内容
概要	特定の課題に対応するために、課題に関心を持つ人が集まり、協働作業や話し合い等の諸活動を行う。少人数（5人～10人程度）のグループに分かれて議論や作業をする方法が一般的である。
目的 ／ねらい	参加者間での議論を通じて多様な視点を共有化し、協働作業を通して創造的な解決のアイデアを見出すことをねらいとする。コンセンサス形成（合意形成）のポイントを探るまでを目的とすることもできる。
手法 の特徴	地域レベルの特定課題の検討において有効である。具体的には、目的や問題の抽出の段階や、複数案の検討段階などで有用な手法だが、その後の事業実施段階や供用管理時においても効果的な手法である。
実施の タイミング	課題の設定や、複数案の比較評価等にあたって実施される。地域の視点から見た課題や留意点等をくみ取る場合や、解決案を検討する場合に用いる。
対象者	計画検討プロセスの内容に関心を持ち、参加意識の高い市民を対象とする。
提供情報	ワークショップでとりあげる課題に関する情報、運営の仕方やルール（※参加者で決める場合あり）に関する情報等を把握する。
把握情報	設定した課題に対する意見、要望、提案（意見集や作業図面）等を把握する。



ワークショップのイメージ(他市の例)

②進め方

- ワークショップを実施するにあたっては、地元のことに精通している方(町内会長等)(以下ステークホルダー)に、ワークショップを実施すること、ワークショップを実施した場合にどのような意見が挙げられそうかを事前に意見聴取(ステークホルダーヒアリング)しておくことで、ワークショップを円滑に実施することが可能となる
- また、その場で、ワークショップ参加者の募集方法等も相談する(例えば回覧板で回してもらう等)

表 スケジュール

	市民参加	事務局
7月	ステークホルダーヒアリングの実施	
8月		ワークショップの企画
9月	ワークショップ参加者の募集	ワークショップの準備
10月	ワークショップの実施	
11月		ワークショップ意見整理

②具体の実施内容

参加者

- 河辺下にお住まいの方 5～15名程度(最大でも20名)
- 参加者が多い場合は、複数回に分けて実施
- ファシリテータ(コンサルタント) 3名
- 市職員(あくまでもオブザーバーとして出席)

実施日時

- 平日夕方～夜

具体的内容

- 企画の趣旨説明(5分)
- 河辺下地域において、交通に関する困りごと・問題点はなにか(45分)
- 休憩(5分)
- 上記で挙げた困りごと・問題点への対応策(45分)
- グループごとに議論した内容を発表(15分)
- 最後に(今後の流れなどを説明)(5分)

河辺下地区の交通を考える

ワークショップ

参加者募集



現在お住まいの河辺下地区で、交通や移動についてお困りのことはありますか？

病院へ行くのに坂を上るのがきつい、買物の荷物を持って帰るのが大変、など...

本ワークショップでは、これらの課題を改善するにはどうしたらよいか、青梅市公共交通協議会と専門家（コンサルタント）が皆様のお話をうかがい、いっしょに改善策を考えます。



【ワークショップの主な内容】

- 交通不便地域の対策事例紹介
- 交通や移動に関して困っていることやニーズについての話し合い

ワークショップは以下のとおり開催いたします。河辺下地区にお住まいの方なら、どなたでもご参加いただけます。

- ▶主催：青梅市公共交通協議会（事務局：青梅市都市整備部管理課）
- ▶日時：令和元年■月■日（■） ■：■■■～■：■■■
- ▶場所：河辺町南自治会館（案）
- ▶参加者数を把握するため、参加いただける方は、下記までご連絡ください。 ■■■（電話■■■）

6. その他

平成24年度に策定された青梅市公共交通基本計画について、一定の期間が経過したことから、当初設定した計画目標に対する達成状況の評価を行う。

【計画目標1:公共交通確保維持に対する市民の意識改革と利用促進】

- バスの利用促進が進んだか → $\text{バス利用率} = \text{年間輸送人員} / \text{青梅市の人口} \times 365 \text{日}$
※人口減少を考慮して利用率とした

【計画目標2:自家用車を利用しなくても安心して暮らせる、バス路線を中心に多様な交通手段を利用できる利便性の高い総合交通体系の構築】

- 公共交通のサービスレベルは向上したか → 実車走行キロ、路線長
- 公共交通利用が不便な人は減ったか → 公共交通サービス圏の大きさ
- 公共交通の利便性に対する市民の意識は向上したか → 市政総合世論調査
 - 「今後も住み続けたい人 → 住み続けたい主な理由」の「交通の便が良い」の割合
 - 「住み続けたいと思わない人 → 移転したい主な理由」の「交通の不便である」の割合※市政総合世論調査は5年おきの実施であるため、評価期間との整合に注意が必要

【計画目標3:持続可能な公的支援制度の整備】

- バス路線の経営状況は改善されたか → 全体の収支率
- 公的支援は効果的に使われたか → $\text{一人当たり公的支援額} = \text{公的支援額} / \text{年間輸送人員}$
※年間輸送人員は公的支援対象系統のみとする

【計画目標4:中心市街地のにぎわいを創出し、拠点性・一体性を高める公共交通の整備】

- 中心市街地の活力・拠点性は高まったか → 中心市街地3駅の一日平均の乗車人員数
- 〃 → 中心市街地の居住人口
- 〃 → 中心市街地の事業所数・従業者数
(卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業)

※事業所数・従業者数は経済センサスの町丁・大字別集計が利用可能だが、2～3年おきの実施で、結果公表まで2年を要していることから、評価期間との整合に注意が必要